

# 国家基本政策委員会

## 委員一覧（20名）

|     |            |            |            |
|-----|------------|------------|------------|
| 委員長 | 浅田 均（維教）   | 上月 良祐（自民）  | 森本 真治（立憲）  |
| 理事  | 牧野 たかお（自民） | 滝沢 求（自民）   | 谷合 正明（公明）  |
| 理事  | 松山 政司（自民）  | 柘植 芳文（自民）  | 山口 那津男（公明） |
| 理事  | 榛葉 賀津也（民主） | 馬場 成志（自民）  | 片山 大介（維教）  |
| 理事  | 小池 晃（共産）   | 船橋 利実（自民）  | 田村 智子（共産）  |
|     | こやり 隆史（自民） | 斎藤 嘉隆（立憲）  | 木村 英子（れ新）  |
|     | 古賀 友一郎（自民） | 田名部 匡代（立憲） | （会期終了日 現在） |

## （１）審議概観

第213回国会において、本委員会は、国家の基本政策に関する調査について、衆議院国家基本政策委員会と合同審査会を１回開き討議を行った。

### 〔国政調査〕

国家基本政策委員会合同審査会は、１回開かれ、泉健太君、馬場伸幸君、田村智子君及び玉木雄一郎君が発言者となって、岸田内閣総理大臣との間で討議が行われた。

６月19日の合同審査会では、根本匠衆議院国家基本政策委員長が会長を務め、政治資金規正法の改正を受けての政策活動費の在り方、近年の物価上昇の下での国民生活への支援策、現下の諸課題に対する総理の姿勢と政治責任、政治資金制度改革をめぐる二党間合意に係る経緯、憲法改正に向けた総理のリーダーシップの必要性、選択的夫婦別姓制度の早期実現の必要性、政治の信頼を取り戻すために果たすべき総理の責任等について討議が行われた。

## （２）委員会経過

### ○令和６年２月２日（金）（第１回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 国家の基本政策に関する調査を行うことを決定した。
- 国家の基本政策に関する調査について合同審査会を開会することを決定した。

### ○令和６年６月19日（水）（第２回）

- 理事の補欠選任を行った。

### ○令和６年６月19日（水）（合同審査会第１回）

- 国家の基本政策に関する件について泉健太君、馬場伸幸君、田村智子君及び玉木雄一郎君が岸田内閣総理大臣と討議を行った。